

# 議会だより

No.79

平成23年(2011)  
11月15日発行

# ぎやか みつ

さわやかに 歴史と未来の 出逢うまち



上郡のマスコットキャラクター  
円心くんとエイトちゃん

## 9月定例会

- |                 |        |
|-----------------|--------|
| 町長突然の辞職         | P.2    |
| 平成22年度決算認定      | P.3    |
| 付託審査報告及び特別委員会報告 | P.4    |
| 全員協議会報告         | P.5    |
| 提出議案に対する表決      | P.6    |
| モニターの意見         | P.7    |
| 一般質問            | P.8~11 |
| 変わりゆくわが町        | P.11   |
| 最後の運動会          | P.12   |



## 平家まつりにぎやかに開催 (10月 2 日)



▲ 平家塚（小野豆）での法要

▶ ステージでのイベント（高田小学校）

# 町長突然の辞職!

9月定例会は9月6日から15日まで開催され、同  
意1件、報告1件、平成22年度一般会計及び特  
別会計決算認定11件、議案6件、平成23年度一  
般会計及び特別会計補正予算8件が上程され、  
慎重審議の結果すべて原案通りに可決した。請  
願1件は総務文教常任委員会で審議のうえ本会  
議で可決、国へ意見書を提出した。議会の最終  
日に山本町長が辞表を提出し、10月5日付で  
退職することを表明した。

10月11日に臨時会が開催され、3議員の辞職に  
伴う副議長選挙及び事務組合等の委員選任が行わ  
れた。また専決処分の案件2件が承認された。

山本町長が任期の4  
分の3以上を残し突如  
辞任した。辞意表明は  
9月14日付神戸新聞に  
スクープ記事として報  
じられた。記事による  
と、新聞社の取材に対  
し「自分以外に世話を  
する者がおらず、(家  
族の)介護に専念した  
い」と答えたとのこと  
である。辞職願は15日  
朝山本守一議長に提出  
され、即日選挙管理委  
員会へ通知された。

15日は9月定例会最  
終日にあたり、議会閉会後に  
町長自身により辞職理由が説  
明された。その後議員から質  
疑が示され町長が答えた。辞  
職願の提出前に新聞社に対し  
辞意を明らかにするのは、ルー  
ルがない異例なことである。  
10月1日からは副町長も任  
期満了で不在になり、総務課  
長が職務代理者を務めるとい  
う異常事態になった。町長が、  
「副町長人事は12月議会を目  
途に上程したい」と答弁した  
真意は何か。

答 心から謝りたい。

問 神戸新聞の記事の冒頭は  
だ、副町長人事について12月  
議会に上程するとのことだっ  
た。3週間以上町長・副町長  
が居ない状況を分っていたか。  
答 医師とも相談し、一昨日  
決心した。

問 議会・職員等に話した後  
に報道関係に示すのはわかる  
が、なぜ報道機関が先になっ  
たか。

答 神戸新聞については、私は  
は知らなかつた。

問 町民の期待を振り捨てる  
ことに対し心は痛くないのか。  
答 申し訳ない。

問 神戸新聞の取材は受け  
ていい。朝刊に出ることも認  
識していなかつた。

問 もう1点聞く。湯田温泉  
で職員が賭博行為をしていた  
ことで、町長もそれを知つて  
いたと聞く。どのように調査  
をして処理をしたか。

答 投書があり調査した。或  
程度の人数がいることも判つ

## 町長挨拶についての質疑応答

工藤 崇議員

大政 正明議員

問 任期途中の退職は身勝手  
だ、副町長人事について12月  
議会に上程するとのことだっ  
た。3週間以上町長・副町長  
が居ない状況を分っていたか。

問 神戸新聞の記事の冒頭は  
だ、副町長人事について12月  
議会に上程するとのことだっ  
た。3週間以上町長・副町長  
が居ない状況を分っていたか。

答 確かにきちっとした処し  
方をしなければならない。

井口 まさのり議員

問 神戸新聞の記事の冒頭は  
だ、副町長人事について12月  
議会に上程するとのことだっ  
た。3週間以上町長・副町長  
が居ない状況を分っていたか。

答 私しかほかにみるものがない  
と思つてゐる。

答 私しかほかにみるものがない  
と思つてゐる。

答 奥さんの介護で辞めると  
言つことをはつきり聞かせて  
ほしい。

問 町の施設では、職員は序  
會内と同じ意識で身を出し行  
動する必要があるが。

答 町の施設では、職員は序  
會内と同じ意識で身を出し行  
動する必要があるが。

基準という規則があり、それ  
に従い厳重注意処分をした。

問 町の施設では、職員は序  
會内と同じ意識で身を出し行  
動する必要があるが。

(教育委員会委員)  
住所 船坂946  
氏名 石原元秀  
生年月日 昭和25年4月3日

## 同意案件



# 平成22年度

## 決算認定

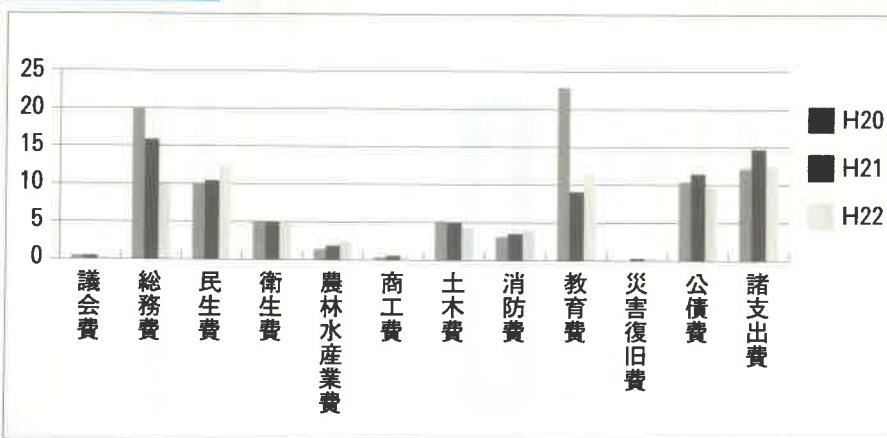
平成22年度決算

(単位：円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	7,467,105,835	7,310,723,011
特別会計(水道事業除く)	4,918,381,724	482,074,454
特別会計内訳	国民健康保険(事業勘定)	1,791,102,547
	国民健康保険(直診勘定)	87,838,481
	老人保健医療事業	32,872
	後期高齢者医療事業	22,838,450
	介護保険事業	1,457,508,614
	農業集落排水事業	325,372,193
	公共下水道事業	797,135,801
	公営墓園事業	28,027,528
	ケーブルテレビ管理運営事業	81,273,586
	簡易水道事業	147,251,652
水道事業(収益的収入及び支出)	390,905,200	349,925,571
水道事業(資本的収入及び支出)	241,313,688	52,038,855

一般会計の内訳(歳出)

(単位：億円)



## 一般会計・特別会計審査の意見書

指導事項  
監査委員

○町税・特別会計を含む未収額は3億1357万円になる、税の公平負担、財源の確保の観点から一層の徴収努力を図

るべきである。

○破産、生活困窮、行方不明等による不納欠損については早めに手を打ち、欠損を回復するよう努力すべきである。

○町有財産のうち不要な資産は早急に活用等の方針を決め、売却すべきものはインターネット公売等を活用し歳入確保に努力すべきである。

少している。繰入金の大幅な減少について考えは、多角的に検証のうえ予算を執行し、不測の事態に備えるよう備蓄を求めたい。

前監査では備品管理、在庫管理に関する報告があつたが今回は無いが、今まで監査していきたい。

今後各備品の細かなところまで監査していきたい。

職員に対し、今後更に節減合理化の努力を望むとある。

答 更なる職員の意識改革を図るよう求めたい。

井口議員 藤本議員

答 経常收支比率、公債費比率は町村の一般的な数値を超している。今後どうするかを具体的に記載すべきだ。

答 指摘の点を踏まえ対応する。

井口議員 藤本議員

答 滞納の兆候をすばやく捉え早めの手を打ち、法的手続きや競売をより迅速に行うよう指摘した。

問 不納欠損を無くすために早めに手を打つように求める。

答 差押さえ物件の換価金額は約256万円で努力が認められる。悪質滞納者は町全体の福利厚生に悪影響を与えるのでより厳しい指摘を求める。

問 平成20年度から22年度にかけ財政調整基金繰入金が減

答 判断できる状況ではない。

大政議員

# 伊勢原市議会

## 総務文教常任委員会

(9月9～13日開催)

### 30人学級実現と義務教育費 国庫負担の増額を

現行40人学級を30人以下  
学級にすることと、義務教育費の国の負担を増額する  
よう求める意見書を国に提出することを求める請願書  
が出された。

当委員会は紹介議員、請

願者の意見を聞き慎重審議の  
結果多数決採決を行い、3  
対2で採択すべきと決した。

〔質疑応答〕

問 この請願は毎年出ているが、当委員会が毎回申し添えた意見の引継ぎはされているのか。

答 引継ぎはしている。

問 30人であればいいという根拠が不明。

答 学級崩壊等の問題に適切な対応ができる、きめ細かな指導を行い問題解決を図るには少人数学級が良い。

問 OECO諸国がどうかではなく、現場の教師の課

題や思いがうかがえない。

本会計決算は全会一致で認定すべきと決した。

### 平成22年度上郡町一般会計決算を認定

当委員会は次の意見・指摘事項を付し、本会計決算は全会一致で認定すべきと決した。

〔意見・指摘事項〕

・「主要施策に関する説明書」は決算年度の報告に対応していない。積年の成果は決算年度と分けて記載されたい。

・「主要施策に関する説明書」は事業の目的、達成手段、判断結果等の記載がなく、決算認定に供する説明としては不備である。

・事業の目的、達成手段、達成判断方法については、予算上程時に施政方針等で示すべきである。

・予算の流用が多く、検討・改善されたい。

### 特別会計ケーブルテレビ管理運営事業決算を認定

ケーブルテレビは75・8%から92・3%に、インターネットは30%から37・1%に加入率が増加。

400万円の基金を積み立ててい

## 千種川河川改修特別委員会

(9月9日開催)

### ○千種川床上浸水対策特別緊急事業（JR鉄橋付近から大枝新の大持井堰までの河川工事）

#### 〔質疑応答〕

問 工事が予定より遅れる箇所があるというが、国庫補助金に影響は無いか。

答 23年度予算を翌年度に繰り越して執行するため影響は無い。

問 隈見橋の供用開始が遅れる見通しだが、地域公共交通事業の開始に影響はないか。

答 現在光都土木事務所が正式に遅れると言っているわけではない。

問 工事入札（9月）後、県と施行業者で行う工事行程会議で明らかになる。土木事務所には12月には竣工するよう要請していく。

答 現在光都土木事務所が正式に遅れると言っているわけではない。

問 國道373号線側の山を削る工法はどうか。

答 山が急傾斜であり、反対側を拡幅する計画となつた。373号線側を拡幅することはできない。

問 赤松地区自治会の要望に対してどのように回答するのか。

答 大持井堰の町管理については、町管理に至った理由書を作成し、自治会長を通じて地元民に周知する。

問 用地買収は面積比で57%が契約済み、物件補償は4件が契約済み。

楠地区の河川対岸の用地立会いは3ヶ月遅れで10月から開始の予定。この地点の予定川幅を145mにすると、山の土質、形状が悪

く崩壊の恐れがあり、ほぼ現在の川幅に変更するよう佐用町側と調整している。また、苔縄橋、苔縄井堰は、地元との調整に時間がかかり、工事開始が遅れる見込み。

### 平成22年度特別会計の決算を認定

#### 〔質疑応答〕

問 佐用町との境付近の川幅は計画通りにするべきではないか。

答 土木事務所は、その方向で検討したが、現在の川幅のままで水深を大きくする方が安全であると判断した。

問 国道373号線側の山を削る工法はどうか。

答 山が急傾斜であり、反対側を拡幅する計画となつた。373号

線側を拡幅することはできない。

問 赤松地区自治会の要望に対してもどのように回答するのか。

答 大持井堰の町管理については、町管理に至った理由書を作成し、自治会長を通じて地元民に周知する。

問 残土処分

光都土木事務所が清谷（楠内地）に容量5万70000m<sup>3</sup>の残土処分地を整備する。なお、進入道路部分の用地は町が買収し、町道として認定したい。

# 全員協議会報告

9月26日に全員協議会が開催され、各課が報告事項や本会議への提出予定案件の説明があった。

## ○金出地ダム工事継続 決まる

検討中の金出地ダムは国土交通省が補助金交付を継続することにした。

## ○学校給食センター建設について

センター候補地選定内部検討委員会（委員長：副町長）

が、検討結果を報告した。



▶ 濁流の果てに（上郡橋から）

## ○乗合タクシーの利用状況

8月1日に運行実験を開始した事前予約型乗合タクシーの8月25日現在の利用状況が報告された。1日当たりの平均運行便数は2便、1運行当たりの乗車人数は11人。

## 常任委員会 運営の変更

上郡町議会ではこれ迄各常

任委員会の会議を議会開会中ばかりでなく議会前にも開催し、所管の各課が報告事項や本会議への提出予定案件の説明を行なってきた。開会前の委員会開催にたいする疑問についでは、予てより委員会の内部でも折にふれ話し合われてきた。

本来常任委員会の権限は議会の予備的審査機関として議案・陳情等を審査することであります。条例で定められたそれぞれの所管の議案陳情等について審査権を有する。ただ、会議規則の定める付託行為があつて始めてその権限を行使できる。

上郡町議会は平成20年の地方自治法の改正で、全員協議会が「議案の審査または運営に関し協議又は調整を行なう場」として法律上明確に位置づけられたことにより、議会開会前の委員会開催をやめ、議会

全員協議会により町当局による事前説明及び意見の聴取を行なうこととした。従つて「かみごおり議会だより」で

## 平成23年度予算の補正

(単位：千円)

会計名	補正前	補正額	補正後	主な補正理由
一般会計	6,819,085	52,331	6,871,416	普通交付税額確定及び人事異動に伴う人件費の更正
特別会計	国民健康保険事業会計(事業勘定)	1,746,159	23,594	国保総合システム導入に係るシステム開発委託料の増及びH22年度国庫負担金等の確定による返還金等の増
	国民健康保険事業会計(直診勘定)	78,366	78,366	共済負担金率改定による人件費の増
	後期高齢者医療事業会計	212,190	230	広域連合納付金（滞納繰越分保険料）の増
	介護保険事業会計	1,330,809	△ 44	人事異動等による人件費の補正減等
	簡易水道事業会計	76,867	663	施設維持管理費及び石戸飲料水供給施設統合事業に伴う増減及びその財源として消費税還付金の増による一般会計繰入金、借入金の減
	農業集落排水事業会計	317,752	1,393	新規職員採用による人件費の補正
	公共下水道事業会計	815,019	16,548	上町ポンプ改修工事による整備事業費の補正
	ケーブルテレビ管理運営事業会計	61,862	23,335	平成22年度決算額確定による基金積立金の増額及び支障移転の事業費等の増に伴う補正

は従来の委員会報告は廃止し、全員協議会報告を新たに掲載する。

## ○楠・河野原地区農業集落排水施設の機能回復

千種川災害復旧等関連緊急事業に伴い、両地区の農業集落排水処理施設が移転対象に

## 提出議案に対する表決

○印は採決でその議員が起立したことを示し、「欠」は採決に参加しなかったことを示す

取組みに納得いかない点が  
4点あり反対する。

1. 同和対策事業で住宅改修等の資金を対象地域の住民に貸し付けているが滞納整理が進んでいないこと。
2. 人権教育啓発事業は、廢止若しくは見直すべきこと。  
人権啓発の名の下に同和問題を人権問題の中心のように位置付けて、事実上同和事業・同和教育を存続している。
3. 市街化地域の都市計画税に最高税率（100分の0・3）を課していること。
4. 安室ダム水道供給事業への負担軽減を国に働きかけるべきこと。

すべての決算に反対する。  
理由は、地方自治会第233条第5項で求める主要な施策の成果を説明する書類の提出が不充分であること。

井口まさのり

が行われ、補正予算が提案された。

- ・副議長選挙結果  
大政正明 5票  
(有効投票数 8票)
- ・西播磨広域事務組合議会議員  
井口まさのり
- ・環境保全審議会委員  
井口まさのり
- ・選挙執行に伴う補正予算  
町長選挙 600万円
- ・議会議員補欠選挙  
220万円

○町長選挙当選者  
梅田 修作 工藤 崇  
小原 潤一 中山 竹信

○補欠選挙当選者  
新町長・新議員  
決まる”

一般会計決算認定

臨時会（10月11日開催）

○議員（3名）の辞職に伴う副議長選挙、各種委員の選任が行われ、補正予算が提案された。

だより かみごおり 2011. 11. 15 / No.79



議会だより78号のトップページは、議会の様子をインターネットで視聴できるようになつたことでした。私のようなへそ曲がりは、議論の内容よりも、町長を始め議員や町職員の表情や仕草に目が行つてしまい、「真剣なやりとりが行われているな…」とか、「眠な…」とか、勝手な受け止め方をしています。しかし、これも町民が議会や町の姿勢を監視できる貴重なツールになることは間違ひありません。

なによりも、インターネット上での視聴をやすくするために、業者に発注して何十万円もかけるのではなく、町民からの知恵の提供によって実

現したという点が高く評価で  
きました。

同時に一般質問欄にある「各種委員の選任」について  
も、町長から「的確な人材發掘に努める」との答弁が書かれていましたが、「学識経験者の登用増」だけにとどまらず、このような地元情報にアンテナを高くする意識こそが、その実現への最短距離かと感じます。まだまだ多くの人材がありますよ、きっと。

次に、千種川河川改修特別委員会の報告欄を読んで一番

に感じたことは、紙面の都合かもしませんが、「環境」に対するやりとり等が全く見えないことに不満を感じました。「えっ、町としての環境対策や要望は上がっていないのだろうか?」。西播磨県民

局が主催する「千種川委員会」では、10年近くを費やして「河川整備方針」や「河川整備計画」が検討されてきており、この9月にはまとめが完了します。川と谷で成り立つ上郡町にとって、千種川とそ

の支川の活用は、町全体の活性化に欠かせない財産だと思います。それだけに、上記委員会での議論の内容を、町議会や委員会レベルでどのように活かしていくか、今後さらに議論を高め、広く町民に知らせて頂きたいと感じました。

最後に、議会便りの一般質問欄を毎回読むことで、各議員の考えが見えてきます。今後もこの議会便りを通じて知つていこうと思います。



## 議会活動報告（6月～8月）

(6月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会運営委員会</li> <li>・上郡町青少年育成センター運営委員会</li> <li>・手をつなぐ育成会総会</li> <li>・なでしこ会総会</li> <li>・人権文化推進協議会定期総会</li> <li>・社会福祉協議会理事会</li> <li>・上郡町障がい者問題懇話会総会</li> <li>・農業委員会</li> <li>・広報調査特別委員会</li> <li>・上郡町地域公共交通会議</li> <li>・上郡町公共交通対策協議会</li> <li>・月例出納検査</li> <li>・兵庫県市町村職員年金者連盟上郡支部総会</li> <li>・社会を明るくする運動上郡実施委員会</li> <li>・千種川水系河川改修事業促進期成同盟監査</li> <li>・西播磨市町議長会役員会及び総会</li> <li>・赤穂食品衛生協会定期総会</li> <li>・全員協議会</li> <li>・広報調査特別委員会</li> <li>・上郡町防犯協会総会</li> <li>・赤穂国際音楽祭</li> <li>・赤相農業共済事務組合議会臨時会</li> <li>・赤相建物農機具共済推進協議会通常総会</li> <li>・総務文教常任委員会</li> <li>・播磨高原広域事務組合定期監査及び決算審査</li> <li>・兵庫県町議会議長会研究会</li> <li>・兵庫県町監査委員協議会臨時総会及び研修会</li> <li>・安室ダム祭り</li> <li>・国道2号改修促進協議会通常総会</li> <li>・兵庫県支部相生地区警察官友の会通常総会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会理事会</li> <li>・広報調査特別委員会</li> <li>・農業委員会</li> <li>・月例出納検査</li> <li>・議会運営委員会</li> <li>・上郡町乗り合いタクシー出発式</li> <li>・上郡駅前広場完成・観光案内所竣工記念セレモニー</li> <li>・決算監査</li> <li>・愛心園夏祭り</li> <li>・X線自由電子レーザー施設見学会</li> <li>・にしはりま環境事務組合議会運営協議会</li> <li>・播磨高原広域事務組合正副管理者・議長会</li> <li>・船坂地区盆踊り大会</li> <li>・播磨高原広域事務組合新都市協議会</li> <li>・播磨高原広域事務組合議会定例会</li> <li>・農業委員会</li> <li>・安全・安心のまち住民大会</li> <li>・西播磨親善体育大会</li> <li>・総務文教常任委員会</li> <li>・民生建設常任委員会</li> <li>・社会福祉協議会理事会</li> <li>・月例出納検査</li> <li>・にしはりま環境事務組合議会定例会及び全員協議会</li> <li>・千種川河川改修特別委員会</li> <li>・全員協議会</li> <li>・安室ダム水道用水供給企業団議会</li> <li>・都市計画審議会</li> <li>・はりま西森林組合総代会</li> <li>・議会運営委員会</li> </ul>
(7月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会運営委員会</li> <li>・上郡町青少年育成センター運営委員会</li> <li>・手をつなぐ育成会総会</li> <li>・なでしこ会総会</li> <li>・人権文化推進協議会定期総会</li> <li>・社会福祉協議会理事会</li> <li>・上郡町障がい者問題懇話会総会</li> <li>・農業委員会</li> <li>・広報調査特別委員会</li> <li>・上郡町防犯協会総会</li> <li>・赤穂国際音楽祭</li> <li>・赤相農業共済事務組合議会臨時会</li> <li>・赤相建物農機具共済推進協議会通常総会</li> <li>・総務文教常任委員会</li> <li>・播磨高原広域事務組合定期監査及び決算審査</li> <li>・兵庫県町議会議長会研究会</li> <li>・兵庫県町監査委員協議会臨時総会及び研修会</li> <li>・安室ダム祭り</li> <li>・国道2号改修促進協議会通常総会</li> <li>・兵庫県支部相生地区警察官友の会通常総会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会理事会</li> <li>・広報調査特別委員会</li> <li>・農業委員会</li> <li>・月例出納検査</li> <li>・議会運営委員会</li> <li>・上郡町乗り合いタクシー出発式</li> <li>・上郡駅前広場完成・観光案内所竣工記念セレモニー</li> <li>・決算監査</li> <li>・愛心園夏祭り</li> <li>・X線自由電子レーザー施設見学会</li> <li>・にしはりま環境事務組合議会運営協議会</li> <li>・播磨高原広域事務組合正副管理者・議長会</li> <li>・船坂地区盆踊り大会</li> <li>・播磨高原広域事務組合新都市協議会</li> <li>・播磨高原広域事務組合議会定例会</li> <li>・農業委員会</li> <li>・安全・安心のまち住民大会</li> <li>・西播磨親善体育大会</li> <li>・総務文教常任委員会</li> <li>・民生建設常任委員会</li> <li>・社会福祉協議会理事会</li> <li>・月例出納検査</li> <li>・にしはりま環境事務組合議会定例会及び全員協議会</li> <li>・千種川河川改修特別委員会</li> <li>・全員協議会</li> <li>・安室ダム水道用水供給企業団議会</li> <li>・都市計画審議会</li> <li>・はりま西森林組合総代会</li> <li>・議会運営委員会</li> </ul>



藤本ゆうき 議員

## きめ細やかな行政サービスを

9月6日から7日までの2日間、6人の議員が一般質問に登壇した。主な質問の内容、町長等の答弁の要旨は次のとおり。

般  
鑑  
門

ここが  
知りたい！

- 1番 藤本ゆうき 議員  
きめ細やかな行政サービスを ..... p. 8

2番 工藤 崇 議員  
「福祉宣言の町」看板の再設置を ..... p. 9

3番 小寺政広 議員  
財政もテレビで説明を ..... p. 9

4番 大政正明 議員  
施政方針の検証を ..... p. 10

5番 赤松初夫 議員  
職員から駐車料金をとっては ..... p. 10

6番 井口まさのり 議員  
町長としての資質は ..... p. 11

## 議会の活性化を目指す

8月31日に宍粟市役所で議員研修会が開催され、宍粟市をはじめ養父市、加東市、太子町、上郡町、佐用町の6議会が参加した。当議会からは4名の議員（山本、工藤、小寺、大政）が出席した。研修会の目的は、議会・議員の活動指針や基本的な事項を認識することで、議会がその機能を高め活力ある発展をすることである。

学教授)による講演「自治体議会改革の課題について」と質疑応答があり、引き続き各議会から議会改革の取組みの現状報告とそれについての意見交換があった。

廣瀬氏は、多くの自治体が制定に向け動き始めた議会基本条例が、住民の権利保障を約束するため、そして議会の仕事はこう言うものと住民に示すために必要である、と強調した。

学教授)による講演「自治体議会改革の課題について」と質疑応答があり、引き続き各議会から議会改革の取組みの現状報告とそれについての意見交換があった。

項目	記入された方は...。	記入された方の年齢は...。
国民年金（第1号被保険者のみ）	年金手帳（基盤年金手帳）がわかるもの	65歳未満の方
国民健康保険 支給費負担から14日以内に 手続きをして下さい。	印鑑 公的年金と受給されている65歳未満の方は年金支 給（医療扶助医療者）	65歳未満の方
後悔高齢者歯周病調査の対象者の方 支給費負担から14日以内に 手続きをして下さい。	歯科区分別印鑑等（戸外からの転入の方） 歯科標準料率表月額50円からもの 金銭掛開票出力の提出 (医療扶助料)を希望される方)	65歳未満の方
老人認定（内閣府認定） +65歳（誕生日の初日）から70歳（誕 生日の前日）までの方	印鑑 所轄税理士登録証（世帯全員のもの）	65歳以上の方
高齢度障害者虐待防止法 虐待障害者（虐待の既得権利） 身体障害者手帳1、2級、これらに 併用するA5判定 精神障害者保健福祉手帳 手帳1級	虐待認定証（該当事者の記載されたもの） 身元不明者手帳又は精神疾患 精神障害者保健福祉手帳 A5判定	65歳未満の方
乳幼児重篤疾患（内閣府認定）	健診結果（該当事者の記載されたもの）	65歳未満の方

# 一般質問



小寺政広 議員

**財政もテレビで説明を実施に向けて検討する**

〔問〕 広報による財政情報には次の不十分な点がある。1. 一般会計が主で、財政の全体像が判らない。2. 町の資産、負債の総量を知ることができない。3. 財政の実態が判らない。

〔企画財政課長〕 判かりやすい形に編集し直して広報紙でも公開する。テレビの地上デジタル放送担当者と相談して実施に向けて検討したい。

## 財政もテレビで説明を



工藤 崇 議員

〔問〕 上郡公民館屋上にあった「福祉宣言の町」の標識がなくなっている。再度、掲げられたい。

〔健康福祉課長〕 千種川の河川改修による上郡公民館の建て替えに伴い、「福祉都市宣言の町」のモニュメントも撤去された。JR上郡駅前を候補地に含め、来年度予算で新しく作り直して建設したい。

〔議員〕 議員の言う同宣言の趣旨を今後も生かし、町民が健康で安全に、お互いを理解しながら暮らせるような町にしたい。

## 「福祉宣言の町」看板の再設置を駅前にモニュメントを設置する

「核兵器廃絶・平和の町宣言」を内外に発信せよ

〔核兵器廃絶・平和の町宣言〕を発信する事業をされたい。  
〔町長〕 「核兵器廃絶・平和の町宣言」を発信する事業をされたい。

「核兵器廃絶・平和の町宣言」の事業は他でもあります。上郡町では、今後、「えんしんネット」や町広報、横断幕なども必要ではないかと考えていて。

〔問〕 核兵器も原発も同じプルトニウムやウランを使用する。この放射性物質による被ばく被害は原発も同じである。上郡町は13年前、住民からの「核兵器廃絶・平和の町宣言」の陳情を採択し、そのモニュメントは役場の「大島圭介公像」の隣に設置されている。福島原発のような悲惨な被ばく事故を起こさないためにも



▶ 旧上郡公民館の標識

〔問〕 診療所の後任の医師は、町立診療所としての立場を根本において探してほしい。

〔町長〕 診療所のあり方を検討するなかで検討していく。

〔問〕 斎場「こぶし苑」の祭壇は利用者の要望に応えて新調した。これで利用が増加すると思込んだが、利用件数は平成11年度の466件を最大として、年々減少し昨年度は80件である。利用者のニーズに沿った運営をするために、

〔住民課長〕 住民の思いや考え方を掌握する必要はある。事務組合のほうへ提案したい。

〔問〕 調査を実施すべきだ。

〔町長〕 診療所のあり方を検討するなかで検討していく。

〔問〕 斎場「こぶし苑」の祭壇は利用者の要望に応えて新調した。これで利用が増加すると思込んだが、利用件数は平成11年度の466件を最大として、年々減少し昨年度は80件である。利用者のニーズに沿った運営をするために、

〔住民課長〕 住民の思いや考え方を掌握する必要はある。事務組合のほうへ提案したい。

財政状況等一覧表（平成21年度決算）

1. 一般会計等の財政状況									
歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	2,714	2,691	273	264	102	1,750	1,750	1,750	1,750
特別会計	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
合計	3,714	3,691	1,273	1,264	202	2,750	2,750	2,750	2,750
歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	2,714	2,691	273	264	102	1,750	1,750	1,750	1,750
特別会計	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
合計	3,714	3,691	1,273	1,264	202	2,750	2,750	2,750	2,750

2. 公営企業金庫等の財政状況									
歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	2,714	2,691	273	264	102	1,750	1,750	1,750	1,750
特別会計	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
合計	3,714	3,691	1,273	1,264	202	2,750	2,750	2,750	2,750

3. 関係する一部事務組合等の財政状況									
歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別会計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—

4. 一般会計等の財政状況									
歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	2,714	2,691	273	264	102	1,750	1,750	1,750	1,750
特別会計	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
合計	3,714	3,691	1,273	1,264	202	2,750	2,750	2,750	2,750

〔問〕 医師が町内で開業するため辞められる、診療所の今後の方針は。

〔町長〕 河原先生には感謝している。診療所は必要であり、早急に検討していただきたい。

〔問〕 調査を実施すべきだ。

〔住民課長〕 住民の思いや考え方を掌握する必要はある。事務組合のほうへ提案したい。

〔町長〕 「核兵器廃絶・平和の町宣言」の事業は他でもあります。上郡町では、今後、「えんしんネット」や町広報、横断幕なども必要ではないかと考えていて。

## 施政方針の検証を

理解できる、検討したい

政策を問うのではない質問を敢えてする。町長の答弁は繰返しや無関係な話が多く、焦点が定まらない。どんな準備をしているか。



大政正明 議員

を受けている。各課にまたがることもあり、説明を加えた方が良いと考え答弁しているが、反省している。

問 1時間の質問時間の半分は答弁にとられる。無駄を省いて核心のやり取りをすべきだと思うがどうか。

町長 これからはそのようにする。

## 職員から駐車料金を取つては

前向きに検討する

くで待っている。町民軽視のよう

に見える。

問 駅前はきれいに整備されたが、バス・タクシーの待機場所が特に目立ち、駅に迎えに来た一般車は坂ましげに遠

れる。エリアを町が交通動線の円滑性に配慮して管理することになら



赤松初夫 議員

## 役場・学校等職員駐車場の料金徴収について

前向きに検討する

くで待っている。町民軽視のよう

に見える。

問 職員の通勤用の自家用車駐車場は町民の共有する公有地である。その有効利用のため料金を取つてはどうかと以前に質問したが、時期尚早で話題にしたこともないので課長会議にかけてみる、といふことだった。その結果はどうだったか。宍粟市は既に駐車料金を徴収している。

企画財政課長 地理的条件か



▲ タクシー待機場所

ら自家用車で通勤せざるを得ないので、職員の福利厚生の観点から通勤者に駐車場の利用を認めている。職員と賃貸契約を結んで職員の駐車枠として指定すると、一般市民がそこに駐車できないことになる。その他いろいろあるので、料金徴収実施については検討する。

問 実施の方向で前向きに検討するということか。

企画財政課長 検討する。

責任としか思えない発言が散見される。議場での発言は、時・場所・状況を考えてしてほしい。

町長 趣旨は分かった、適切でない言い方をしたこともあつた。

## 施政方針の検証

かねてから何度も施政方針の検証をすべきだと言つてきた。答弁が全くなされないが。

町長 近隣の状況から、検証

は反省点も多々

のはずだ。この付した条件が満たされているか否かが検証の対象になるはずだ。

町長 そのこと

は実施しないとの結論だ。その認識は誤りだ。総合計画を構成する長期計画のうちの実施計画（本町では作られていない）に条件を付して単年度分としたものが施政方針のはずだ。この付した条件が満たされているか否かが検証の対象になるはずだ。

ある。実施計画については前にも指摘を受けた。言われることは理解できるので検討したい。



▲ 今年の施政方針

# 一般質問

## 変わりゆくわが町

千種川河川改修工事が、急ピッチで進んでいます。工事の進捗に合わせて、変わりゆく千種川の風景を掲載します。



▲ テレビ塔から (H23. 10. 19)



▲ 役場テラスから (H23. 10. 20)



▲ 駒山から (H23. 11. 4)



▲ 駒山から (H23. 11. 4)

## 町長としての資質は 私はあると思っている



井口まさのり 議員

**問** 私が議員職に就いてから、3年間の間に、町長の無責任な言動、虚偽の発言に対し、さまざまな問題が発覚した。一度目は、合併協議会設置請求を議決する議会の当日、議

会から逃走した問題。2番目は、公営施設での問題を、公表しなかった。3番目は、日本航空学園誘致の問題について、昨年7月に課長会で断念する事を、決定していたにもかかわらず、今年6月まで虚偽の発言を続けていた。4番目は、副町長にすると2人の人と約束し、困った挙げ句に、副町長の任期満了が過ぎてしま

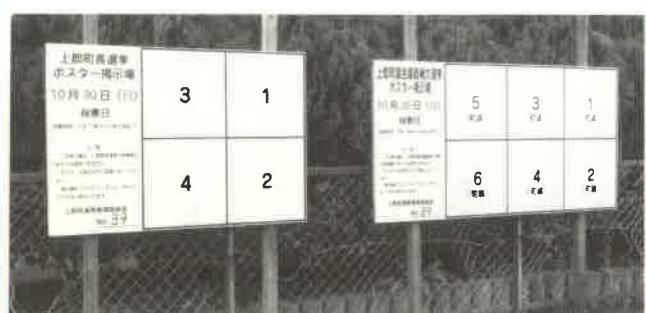
**問** この2人は、以前から町長選に出馬する決意があったこと、町長選を辞退したことで、町長選を辞退したと聞いている。今さら3人目という話ができるのか。又、

まうこの9月議会に、副町長の人事案件を上程しなかつた。以上のことから町長としての資質に問題があると思うがどうか。

町長としての資質があるのかないのかはっきり答えてほしい。

**町長** 町長選に出るからだめだと、こっちに出るからという話ではなかつたと思う。人目を12月に上程するつもりでいる。

**町長** 副町長については、3人目を12月に上程するつもりでいる。



# 最後の運動会

赤松小学校 9/25 赤松幼稚園 10/2 鞍居小学校 9/25



## 議会ホームページから 会議録がご覧になれます

町のホームページからアクセスできます。  
(<http://www.town.kamigori.hyogo.jp/>)

**傍聴へどうぞ!!**

車イスもあります  
次回は**12月6日**開会予定  
テレビ中継は午前10時より

編集係記

今年は、3月に発生した東北大震災をはじめ近畿地方を襲った台風による大雨被害やタイの浸水被害など、改めて自然の恐ろしさを感じる年でした。

また、西欧諸国の債務問題が端緒といわれるこれまでにない円高など、国内外を問わず大きく荒れた1年でした。

あと1ヶ月余りで新年を迎えます。

新たな気持ちで新年を：と思いたいですが、今年の災害は特に忘れるわけにはいきません。

災害に対する備えは物的なことのみならず、日頃から意識していることが重要です。

被災地の復旧、復興と被災された方が一日でも早く笑顔を取り戻せるよう念願するばかりです。